

プレスリリース

カフェで使ったストローが福岡市動物園のペンギンの寝床に！ “草”素材でプラごみ削減へ

-OREC green lab 福岡にて、3月1日(火)より“草ストロー”提供開始-



※写真はイメージ

「草と共に生きる」をブランドコンセプトに掲げる株式会社オーレックのブランド発信拠点「OREC green lab 福岡(所在地:福岡市中央区赤坂)」は、カフェのアイスドリンクで提供しているプラスチック製ストローに代わり、完全自然由来の“草ストロー”を本日3月1日(火)より導入いたします。

“草”素材を活かすため、使用済ストローは洗浄消毒後に福岡市動物園へ進呈し、今冬よりペンギン獣舎にて巣材として活用されます。

OREC green lab 福岡ではSDGsの一環として、プラスチックストロー廃止のさらに先をいく循環型社会の取り組みを始めます。今後もオーレックでは、SDGsの実現に貢献してまいります。

<草ストローとは>

合同会社 HAYAMI (<https://www.hayamigrassstraw.com/>) が販売する、無添加・無農薬・保存料不使用の完全自然由来の製品です。使用後は動物のエサや堆肥化などの活用方法が期待されています。

■草ストロー導入の背景

近年、海洋プラスチック問題の観点で、紙製品への代替など、資源の有効活用が求められています。

OREC green lab 福岡でも、持続可能な社会に向けて、提供資材を再検討しております。その第一歩として、オーレックと親和性の高い、草からできたストローを導入する運びとなりました。

2022年4月1日からは、「プラスチック資源循環法」が施行され、より注目が高まりそうです(<https://www.env.go.jp/recycle/plastic/circulation.html>)。

■草ストローを福岡市動物園にて二次活用

ストローの素材を変えるだけでなく、ゴミ減量を目標に二次活用法を模索し、福岡市動物園へ打診したところ、ペンギン巣材としてご活用いただける運びとなりました。ストローは一定数集まり次第、随時ペンギン獣舎へ提供してまいります。新しい巣の交換が行われる今冬より巣材として活用される予定です。

＜草ストロー再利用の流れ＞

- ① 原料の草はベトナムで栽培・製造されており、現地の雇用創出にも繋がっています。
- ② ドリンクを飲んだ後のストローは、お客様自身で回収箱に入れていただきます。
- ③ スタッフが回収し、熱湯消毒・乾燥させた後、ペンギンの巣として再活用されます。



■お客様と一緒に“SDGsへ貢献”

使用したストローが二次活用されることをお客様に知っていただき、簡単に楽しくSDGsに参加できる仕組みを作りました。



＜ストロー回収箱＞

OREC green lab 福岡とは

“人と農・自然とのつながりを身近に感じられる場”を目指し、2019年10月にオープンいたしました。オーレックの草刈機を使用して育った無農薬米のドリンクや、無農薬で育った農作物を集めたマルシェなど、環境にも身体にも優しい商品を提供しています。

【概要】

- ・所在地 — 福岡県福岡市中央区赤坂 1-13-1
- ・営業日 — 火曜～土曜 9:00～17:00
- ・定休日 — 日・月・祝日
- ・E-mail — greenlab_fukuoka@orec-jp.com
- ・Instagram — https://www.instagram.com/greenlab_cafe/
- ・ウェブサイト — <https://www.orec-jp.com/greenlab-fukuoka/>



▼取材・掲載に関するお問い合わせ▼
株式会社オーレック ブランディング広報グループ
担当：関 雅文 古賀 有沙
(TEL:0943-32-5072、FAX:0943-32-6551)
kouhou@orec-jp.com